

要求図面では表せない建築物の計画上の要点等について、次の(1)～(5)を具体的に記述又は図示する。

(1)屋外・建物内・屋上等に設置する全ての設備（①太陽光パネル、②キュービクル、③設備配管取出し口（はと小屋）、④空調機器等、⑤給水設備、⑥非常用発電機、⑦その他消防設備等）の配置計画や工作物等の構造において考慮したこと（①～⑦の配置が分かる図やイラスト等（フリーハンドでもよい。）を全て【イメージ図等記入欄】に記入し、考慮したことを図中に示す。）

【イメージ図記入欄】(必ず記入すること)

(2) 住民同士の多様な世代の交流や、ユニバーサルデザインに配慮したこと(3つ以上)

(3) 二酸化炭素排出量の削減や省エネ対策などで、計画上工夫したこと(3つ以上)

(4) 構造計画に於いて採用した構造（耐震構造・制震構造・免震構造）と耐震に関する性能の確保（層間変形角の制限値、耐震計算ルート、耐震安全性の分類による重要度係数）で考慮したこと

採用した構造	
採用した理由	

(5) ①地下水位や対津波又は記録的大雨等の浸水・耐風に関する性能等で考慮したこと ②普通コンクリートの設計基準強度や部材の靱性等で柱の設計で考慮したこと ③梁貫通孔及び各部材への埋設配管等で考慮したこと



本資料の著作権は 一級建築士事務所プラスデザイン株式会社に帰属しています。
資料の一部又は全部を無断で使用、転載等を行う事を禁止しております。

受験番号	— —	氏名	
------	-----	----	--